

患者総合支援センター 新スタッフのご紹介

看護師 岸本 尚子 参事

これまでの看護科長としての経験を活かしながら、「人中心の医療」、「地域完結型の医療」を進めるため精一杯取り組んでまいります。そのためには地域の皆様と顔の見える関係づくりに努め、入院前から患者さんやご家族をスムーズに地域に繋げ、安心して退院できるよう職員一丸となって寄り添い、支えてまいります。皆様のご指導とご協力をよろしくお願いします。



看護師 秋吉 美典 主査

昨年までは、外来で外来支援として患者支援を行っていました。今後も地域で療養生活を送っておられる患者様の自分らしい生活が継続できる様に支援をしていきたいと思ひます。地域の支援者の方々、どうぞよろしくお願いいたします。



社会福祉士 橋本 祥子 主査

令和7年4月より、患者総合支援センター総合医療相談グループにて、外来患者様のご相談を担当させていただくことになりました。がん相談支援センターとの兼務になります。地域の皆様にはお世話になりますが、よろしくお願いします。



社会福祉士 石地 知恵

社会福祉士として勤務させていただく石地知恵と申します。以前は介護の現場に勤めておりました。患者さんご家族が安心して療養生活が送れるよう支援していくために日々精進していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



社会福祉士 早川 摩弥

4月から新規採用にて入職しました早川摩弥です。私は長浜市出身で、以前は介護職をしており、その後社会福祉士を取得してこちらで働くこととなりました。これから精一杯頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。



医師の異動（6月）

- 着任（令和7年6月1日付） ありません
- 退職（令和7年5月31日付） ありません

湖北病診連携交流会の開催について

地域医療支援病院として、地域の医師等とのより一層の連携と顔の見える良好な関係を構築するため、本年は湖北医師会と共催で病診連携交流会を開催いたします。

開催日時 令和7年6月28日（土） 午後4時30分開会 （午後4時から受付開始）

会場 北ビワコホテル グラツィエ（長浜市港町）

講演 「リウマチ病を志して」

市立長浜病院 リウマチ・膠原病内科 特任部長 梅原久範 先生

問合せ先 湖北医師会

電話：0749-65-3600

■ 4月29日『全教一斉ひのきしんデー』 ■

今年も、天理教湖北支部のみなさんに除草作業を行っていただきました。小さなお子さんからご高齢の方まで251人の方が駐車場の植込み、リハビリ庭園を美しくしてくださいました。患者さんだけでなく職員の気持ちまで晴れやかになりました。この奉仕の精神を見習わないと、と感動しました。



もっと市民に愛される病院に！

市立長浜病院

令和7年6月1日号

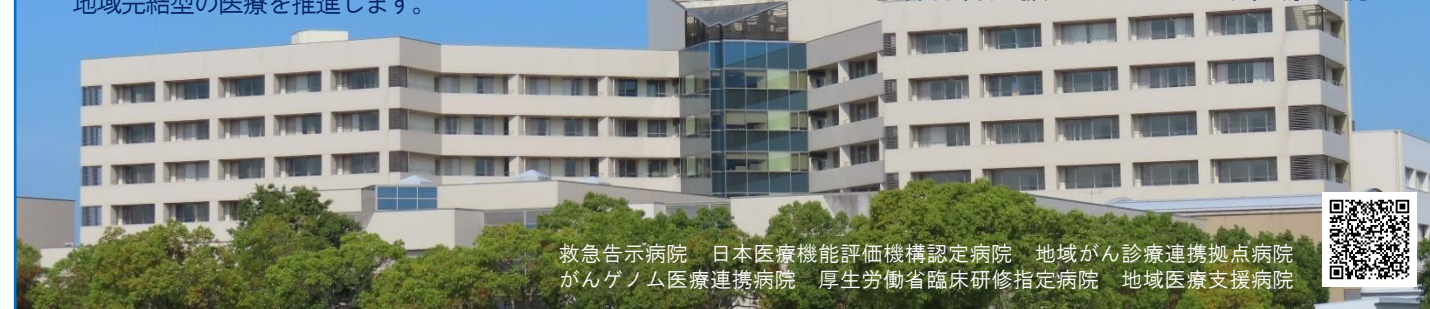
No.243

地域医療連携だより

理念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を進展させ、地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室



救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療連携病院 厚生労働省臨床研修指定病院 地域医療支援病院



謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。6月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けしますので、ご査収ください。 敬白

腫瘍内科のご紹介

腫瘍内科 責任部長 竹治 智

がん薬物療法とがんゲノム医療を担い地域のがん診療を下支えする診療科

令和7年4月、当院に腫瘍内科が新設されました。腫瘍内科は、悪性腫瘍（がん）に対する薬物治療を行う診療科です。また、悪性腫瘍に生じている遺伝子変化を網羅的に調べ、個々の遺伝子（ゲノム）の変化に応じた治療（プレジジョンメディシン、精密医療）であるがんゲノム医療に取り組んでいます。



腫瘍内科は、本邦では比較的新しく馴染みの薄い診療科ですが、米国では循環器科と並んで大きな診療科であり、がん薬物療法のほとんどを腫瘍内科専門医が担っているそうです。がんは発生部位が異なっても共通の治療薬を使用することがよくあります。近年注目されている免疫療法（免疫チェックポイント阻害薬）、血管新生阻害薬などの分子標的薬、タキサン系、プラチナ系やフッ化ピリミジン系の殺細胞性抗がん薬などです。当科では、これらを用いたがん薬物療法に対する知識と経験を基に、原発不明がん、希少がん、重複がんを含めがんの発生部位に関わらず、安全でより効果的ながん薬物療法を提供できるよう努めています。また、がんと診断された初期の段階から緩和医療が中心となる終末期までがん患者さんを診療し、全人的な医療を行うことも当科の責務と考えています。

また、当院は京都大学医学部附属病院と連携することで、令和5年11月にがんゲノム医療連携病院に承認され、固形がんに対してがんゲノム医療の核となるがん遺伝子パネル検査（包括的遺伝子検査）を行っています。がん遺伝子パネル検査は、「標準治療がない固形がん患者又は局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者（終了が見込まれる者を含む）で、同検査施行後に薬物療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した患者」を対象に保険診療として実施します。検査には組織検体または血液検体を用いますが、それぞれ利点と欠点があります。現状では保険診療としては生涯に1回のみ受けられる検査ですので、どの検体を用いていつ検査を行うかが重要です。がん遺伝子パネル検査による遺伝子の変化に基づいた治療薬への到達率は、現状では10%程度です。到達率が比較的高い悪性腫瘍として、乳がん、肺がん、前立腺がん、胆道がんなどが知られています。これらのがん患者さんをはじめ、上記の保険適用条件に該当される患者さんを積極的にご紹介いただければ幸いです。

このように、当科はがん薬物療法とがんゲノム医療を通して、地域のがん患者さんに、国内標準のがん治療を身近で安心して受けていただける環境を提供します。

ペインクリニックのご紹介

麻酔科 ふくい
福井 せい
聖

最新機種によるパルス高周波治療(PRF)が当院の強みです

令和5年よりペインクリニックを担当しております福井聖と申します。もともと滋賀医科大学医学部附属病院ペインクリニック科で厚労省慢性疼痛診療事業～近畿地区の代表をしておりました。痛みでお困りの患者さんがおられましたら、気軽にご紹介いただければと思います。

当科の得意な治療として、Neuromodulationの最新治療であるパルス高周波治療(PRF)があります。現在、最新機種で治療できる滋賀県で唯一の病院となっております。PRFは腰下肢痛などの脊椎疾患や、带状疱疹後神経痛、術後慢性痛などの神経障害性疼痛を対象に、針先端から高周波ラジオ波を加えることで、目的部位の痛みや炎症を中長期的に抑える低侵襲な治療です。安全かつ確実に施行するため、X線透視下に行っています。

＜パルス高周波治療機器とスライタ針＞



がん診療連携拠点病院における疼痛緩和について、最新の見直しで神経ブロック等でも対応できることが必須条件となりました。がん疼痛はオピオイド鎮痛薬が基本ですが、内臓痛に対する腹腔神経叢ブロック(内臓神経ブロック)などの神経ブロック治療も有効な手段の1つです。当院、地域の痛みを抱えた患者さんのQOL向上のためにも、どうぞよろしくお願いします。



診療局長 就任のご挨拶

診療局長 もりた
森田 よしかた
善方

こんにちは。今回は診療局長就任のご挨拶です。診療局長とは何なのだろう・・・と流行りのAI(今回はMicrosoftのCopilot)を使って「四字熟語で教えて」と聞いてみました。民心涵養(みんしんかんよう) — 患者とスタッフ双方の心を支え、医療現場の信頼と敬意を育む役割との事でした。何だか大層な事を引き受けてしまった・・・と実感しました。身に余る職務ですが破釜沈舟(はふちんしゅう)で頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。(もちろん最後の四字熟語もAIでカンニングしました・・・汗)



医療技術局長 就任のご挨拶

医療技術局長 みやもと
宮元 のぶあつ
伸篤

4月から医療技術局長(兼中央検査技術科技師長)を預かることになりました臨床検査技師の宮元伸篤と申します。医療技術局は、栄養科、中央検査技術科、放射線技術科、リハビリテーション技術科、臨床工学技術科、歯科・眼科技術室の5科1室の組織です。各科室は専門の技術と知識を持ったスタッフで構成されており、検査から治療まで幅広く診療の一翼を担っています。これからも各職種の持ち味を活かし、地域完結型医療の推進に貢献していきたいと考えています。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



事務局長 就任のご挨拶

事務局長 もり
森 ひろし
宏志

今年度より、事務局長を拝命いたしました森宏志と申します。職務に精励し職責を果たせるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。市立長浜病院の掲げる「地域住民の健康を守るために、『人中心の医療』を発展させ、地域完結型医療を推進します」の理念に基づき、地域の皆様の生命と健康を守り、質の高い医療を提供するとともに、地域の医療・介護・福祉・保健の関係者の方々と共に切れ目のない連携と医療の充実を進める一翼を担ってまいりたいと考えております。皆様のご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。



臨床研修医のご紹介

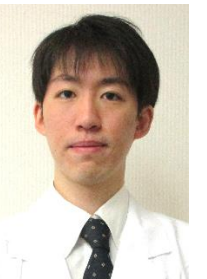
研修医 うえの
上野 ふさやす
滋叶

このたび市立長浜病院の初期臨床研修医として勤務いたします上野滋叶と申します。東京都出身で、大阪医科薬科大学を卒業いたしました。まだまだ不慣れな点も多く、皆様にご迷惑をおかけしてしまうこともあるとは思いますが、病院のスタッフとして一日でも早くお役に立てるよう、精一杯頑張ります。市立長浜病院というめぐまれた環境の下、日々研鑽を積んでいきたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。



研修医 おだ
小田 りんたろう
麟太郎

今年度より初期臨床研修医としてお世話になります小田麟太郎と申します。滋賀県は学生時代に部活動等でたびたび訪れており馴染みのある土地です。この自然豊かで心落ち着く長浜にて勤務することに胸を躍らせています。まだまだ未熟者で至らぬ点も多いかと存じますが、精一杯勉強させていただき、湖北地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。



研修医 しまだ
島田 かずなり
一成

臨床研修医としてお世話になります島田一成と申します。大阪府出身であり、福岡にある産業医科大学を卒業しました。長浜市は自然豊かであり、愛着のある関西の地で過ごし、また働けることを大変嬉しく思っております。右も左もわからぬ未熟者ではありますが、まずは1日でも早く皆様のお力になれるよう精一杯努力してまいります。また患者様を思いやり、確かな技量も持ち合わせた医師になれるよう日々精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



研修医 たかす
高須 ゆうじ
祐治

令和7年4月より初期臨床研修医として勤務しております高須祐治と申します。地域に根ざした医療を大切にしている当院で、医師としての基礎をしっかりと身につけていきたいと考えています。日々の学びを糧に、患者様に信頼される医師になれるように謙虚な姿勢で努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



研修医 たにぐち
谷口 だいすけ
大助

4月から市立長浜病院で初期臨床研修をさせていただいております谷口大助と申します。豊かな自然や歴史的文化をもつ長浜市で研修医生活をスタートできることに大変感謝しております。臨床で実践的な経験を積み、医療従事者として成長していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



研修医 なかむら
中村 りょうた
亮太

今年度より市立長浜病院で臨床研修医としてお世話になります中村亮太と申します。出身は大阪府で山口県の山口大学医学部を卒業しました。自然豊かで穏やかな空気のある長浜という地で2年間の研修を行えることを大変嬉しく思います。至らぬ点が多いと思いますが、よろしくお願いいたします。

